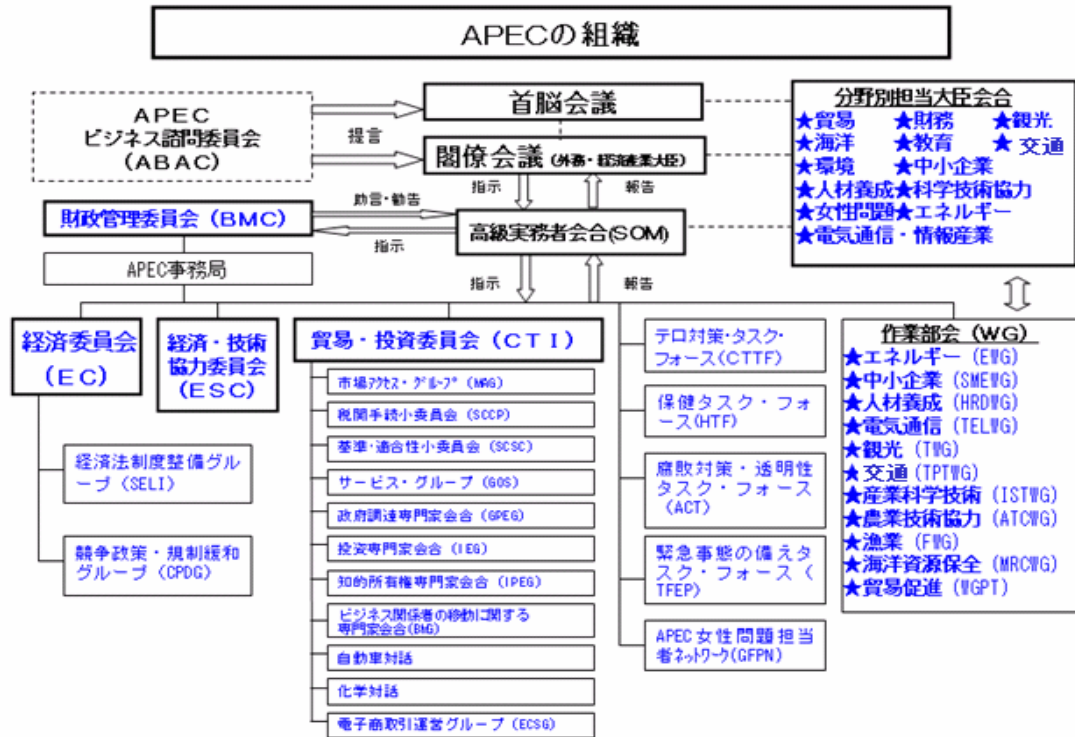


(参考資料)

アジア太平洋経済協力 (APEC: Asia-Pacific Economic Cooperation)

1. 組織



首脳会議

1993年より毎年1回各国首脳が参加して開催されている。

直近は第15回首脳会合が2007年9月オーストラリアのシドニーにて開催された。

閣僚会議

1989年より毎年1回、外務・経産両大臣が参加して開催されている。

直近は第19回閣僚会議が2007年9月オーストラリアのシドニーにて開催された。

交通大臣会合

1995年6月 第1回 アメリカ・ワシントンDC

1997年6月 第2回 カナダ・ヴィクトリア

2002年5月 第3回 ペルー・リマ

2004年7月 第4回 インドネシア・バリ

2007年3月 第5回 オーストラリア・アデレード

2. 沿革

1989年11月 ホーク豪首相の提唱により、第1回閣僚会議開催

1994年11月 非公式首脳会議にてボゴール宣言採択

2002年10月 「テロリズムに対する闘いと経済成長に関するAPEC首脳声明」等採択

3. 目的等

目的 ⇒ アジア太平洋地域の持続的発展及び開かれた地域協力の強化

活動の3本柱 ⇒ 1. 貿易・投資の自由化、2. 商取引の円滑化、3. 経済・技術協力

具体的目標 ⇒ ボゴール宣言(1994年採択)において先進国・地域は2010年、発展途上国・地域は2020年迄の域内の貿易・投資の自由化の達成。

4. 参加国・地域(21の国・地域)

日本、韓国、中国、中国香港、チャイニーズ・タイペイ、タイ、フィリピン、シンガポール、マレーシア、インドネシア、ブルネイ、ベトナム、パプアニューギニア、チリ、ペルー、ロシア、アメリカ、カナダ、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランド

5. 組織

首脳会議、閣僚会議、高級実務者会合(SOM)、各分野ワーキング・グループ等設置

6. 交通WG 港湾・海事専門家会合の活動内容

交通大臣会合及び高級実務者会合の下部組織として交通WGを設置(年2回開催)

<参考:交通WGにおける専門家会合>

交通WGの代表団長等会合			
港湾・海事専門家会合(MEG) (海運・港湾、海事保安、海事安全、人材育成) サブグループとして 海事保安専門家サブグループ(MEG-SEC) を含む	陸上交通専門家会合 (車両基準調整、交通保安、道路安全、人材育成)	航空専門家会合 (航空サービス、航空保安、航空安全、人材育成)	IITS専門家会合 (インターモーダル、高度交通情報システム、人材育成)

必要に応じて、代表団長等会合の承認を得て、各委員会の下にタスクフォース(サブグループ)を設置可能。

沿革

- 1991年10月 第1回交通WG開催
- 1996年11月 第10回交通WGにて、第1回港湾専門家会合(PEG)開催(議長:港湾局)
- 1997年4月 第11回交通WGにて、第1回海事専門家会合(MI)開催(議長:海事局外航課)
- 2004年9月 海事保安専門家会合(MSEG)設置(議長:米国)
- 2005年9月 第26回交通WG(ウラジオストク)において、港湾専門家会合と海事専門家会合が統合し、港湾・海事専門家会合(MEG)発足(議長:港湾局)
- 2006年5月 第27回交通WG(ハノイ)において、専門家会合が各輸送モード毎に再編され、MEGが保安、人材育成を含め海上輸送全般を取扱うことに決定
MEG議長:日本(港湾局)
MEG-SEC議長:カナダ、副議長:タイ、オーストラリア
- 2006年9月 第28回交通WG(バンクーバー)開催
- 2007年7月 第29回交通WG(台北)開催
- 2008年4月 第30回交通WG(マニラ)開催(予定)